

Contents

巻頭言	・自然界に向き合う力、未来への希望 福井大学教育学部長 澁谷 政子	Pick up!	合同研修会の記録 ・第34回 福井 CST 合同研修会 (第31回 福井 CST 公開セミナー) ・ウインターミーティング 第35回 福井 CST 合同研修会 (第32回 福井 CST 公開セミナー) ・第36回 福井 CST 合同研修会 (第33回 福井 CST 公開セミナー)
TOPIC	・第13回 福井 CST 認定証書授与式を 挙行了しました	お知らせ	・シンポジウム これからの理科の先生をどう発掘し支えるか？
受講者 だより	・学校インターンシップ ・博物館等インターンシップ ・先端科学技術セミナー ・技能研修講座 B ・学校教育セミナー		

巻頭言 自然界に向き合う力、未来への希望

福井大学教育学部長 澁谷 政子

1970年大阪万博は「人類の進歩と調和」をテーマに掲げて開催されました。この時代、大多数の人々が、科学技術の進歩とグローバル化に人類の夢を熱く託していたように思います。(私は幼く会場には行けませんでしたがお土産の太陽の塔グッズと宇宙写真のスライドビューアーはお気に入りでした。)

そして来年2025年の大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。このテーマにあまり心が向かないのは私だけでしょうか。Society5.0なる概念が2016年に提唱されてから、仮想と現実の融合による社会の幸せな変革がよく語られるようになりました。しかし、文系アナログ人間としては、Society1.0、2.0、3.0でも人は幸せなのではないか？と思うことがあります。

確かに便利です。インターネットで通りいっぺんの情報がすぐに手に入り、生成AIが何でも答えてくれそうな時代。一方で、効率が求められ、例えば動画は短くないと若者に見てもらえないといえます。こうした社会の変化は、学問全般にとって決し

てよい環境とは言えず、理科学習の難しさにもつながっているかもしれません。観察する、課題に気づく、推論を導く。材料・素材を集める、検証方法を編み出す、実験を繰り返す。そしてこのサイクルの反復。こんな手間暇と体力・気力のかかることは、最近の言葉でいう「タイパ」の対極でしょう。

しかし、この状況を打開できるのも理科の力だと思います。スーパー科学者にならなくともよい、理科「好き」にならなくともよい。Society5.0の両輪の一つである「現実」に、自分の身体と五感と頭をフル回転させて相対する。わからないことに粘り強く挑戦し続ける。自分の意図や思いとは別に成立する自然界の摂理があることを知る。こうした学びを通して成長する子どもたちに、他者と共存する幸せな社会への希望を託したいと思います。そして、日々、子どもたちとともに理科の学びの深化に尽力されているCSTの皆さんへ、心から敬意とエールを送ります。

Topic

第13回福井 CST 認定証書授与式を挙行了しました

令和6年3月22日(金)、福井大学文京キャンパスにて、第13回福井 CST 認定証書授与式を挙行了しました。認定を受けたのは、CST 養成プログラムを修了した、上級 CST 受講者(現職教員)1名、初級 CST 受講者(学部生)2名の計3名です。

今後、県内各地域の CST や CST 養成・支援機関・地域支援拠点(小学校)等と連携を取り、また、新しい連携先を開拓し、それぞれの所属校や地域の理科教育支援のため、様々な場面での活躍が期待されます。

令和5年度認定 福井 CST

上級 CST(福井)

福井市社中学校

出口 翔太

所属は令和6年3月22日現在

初級 CST(福井)

養成プログラム修了 青山 莉子

養成プログラム修了 春田 真椰

(敬称略)



受講者だより

「学校インターンシップ」

福井市社中学校 受入れ担当者
実際の学校現場の様子や授業づくりについて、自発的に学ぼうとする姿が大変すばらしいです。このような機会に積極的に参加しながら理科の授業づくりに触れ、従来のやり方にとらわれない新しい発想をどんどん現場に取り入れることができるよう、学びを深めてほしいと思います。

福井市社中学校 初級 CST 受講者
生徒のなぜだろうなどの疑問を最初に引き出すということや学んだ。なんのために実験をしているのかがわからない生徒もいるが、それでは意味がない。そのため導入で、これを調べたい、確かめるためにこれを調べなきゃいけない、などの興味や目的意識をはっきりさせる必要があると学んだ。

「博物館等インターンシップ」

福井県立恐竜博物館 初級 CST 受講者
クマの解剖をして、その中で歯や筋肉、骨など様々な学びがあり、それらは他の哺乳類にも当てはまること、または当てはまらない生物もいるなどという面白いお話があり、今まで関わりのなかった生物への興味が非常に大きくなった。そのため将来教員になった際にはぜひこの面白さを子どもたちに伝えたいと思った。

先端科学技術セミナー

「令和6年能登半島地震-福井での地震災害に関連して-」

2024年6月30日 中級 CST 受講者
中学校1年生の理科の地学分野では防災に関するものが大きく取り上げられている。能登半島地震は福井県民にとって比較的近い場所で起きたものであり揺れを経験した人も多い。私は今回の講義の聴講だけでなく能登半島地震による被害調査にいったこともあり被害の大きさを実感している。能登半島地震の知識を使って地震の恐ろしさを伝えていきたい。

技能研修講座 B 福井県海浜自然センター

「サケの遡上を観察しよう」

2023年11月12日 上級 CST 受講者
海水温が高いためにサケの行動パターンが例年と違うことを知り、理科や総合で環境問題を学ぶ一環として、地元のサケの調査をしてみると面白いと思った。自分たちでサケの住みやすい環境を守っていく活動に展開していくと理科の生物分野だけでなく環境分野も合わせて取り組むことができる。地元で大変素晴らしい教材があることを理科の先生と共有し授業に活かしていきたいと思った。

学校教育セミナー 福井県教育総合研究所 通信型研修

「授業の見取りの基礎・基本」

2023年12月8日 中級 CST 受講者
ふるさと福井の先人100人や心のノートといった「教材」は自分も学生時代に使った覚えがあったが、「施設利用」や「貸し出し資料」はこの動画で初めて知った。学生時代の経験からは中々思いつかない選択肢であるため、博物館などを利用して何ができるかを調べること、また調べたことを他の先生方にも知らせることは、よりよい授業づくりのためであり、ふるさと教育にもつながると考える。

Pick up!

合同研修会の記録

令和5年12月2日(土)

第34回 福井 CST 合同研修会(第31回 福井 CST 公開セミナー)

◆学会報告「日本理科教育学会高知大会」
「福井 CST (地域の核となる理科教員) 養成・支援事業の現在」
福井大学 浅原 雅浩 教授

◆実践報告
「電気分野(プログラミング)における課題解決型学習」
坂井市立春江小学校 岩佐 章弘 教諭 (上級 CST)
「『浮力の実験』の探究的な授業実践」
越前市武生第六中学校 岩本 純一 教諭 (上級 CST)

◆ワークショップ「探究活動の取組」
「丸岡高校での探究学習の取組」
丸岡高等学校 小林 直彦 教諭(上級 CST)
「若狭高校での探究学習の取組」
若狭高等学校 瀬戸 有紀彦 教諭(中級 CST)
8月アンケート調査報告
福井大学 浅原 雅浩 教授

◆グループワーク
各校の取組や課題探究に関するグループディスカッション
◆新メンバー紹介と諸連絡



令和6年2月18日(日)

第35回 福井 CST 合同研修会(第32回 福井 CST 公開セミナー) 福井 SSTA ウィンターミーティング

◆ワンポイントレクチャー
福井大学 山田 吉英 准教授
福井大学教育学部附属義務教育学校 佐々木 庸介 教諭

◆SSTA 中日本ブロック研修会 報告
福井市至民中学校 小林 暉 教諭

◆理科ラウンドテーブル(実践の語り合い)
◆諸連絡

令和6年6月21日(金)

第36回 福井 CST 合同研修会(第33回 福井 CST 公開セミナー)

◆ワンポイントセミナー
「理科に不可欠な原体験……実感を伴うために」
福井大学 山本 博文 教授

◆実践報告
「自然に親しみ、主体的に探究し、科学の有効性を実感する理科教育」～ICTの効果的活用方法を組織的に考える～
敦賀市立中央小学校 川北 あゆみ 教諭(上級 CST 受講者)

「月の満ち欠けの指導に関する一考察」
あわら市金津東小学校 平田 幸恵 教諭(上級 CST)
(卒業論文の紹介)

「像概念を強調した中学校理科「光」の単元デザイン」
福井大学教職大学院 高木 雄也(中級 CST 受講者)
◆新メンバー紹介と諸連絡



お知らせ(ご紹介)

日時
会場
内容

令和6年10月5日(土) 13:15~17:10
福井大学 文京キャンパス 総合研究棟 I 13階
1. 基調講演 京都大学 名誉教授 玉尾 皓平 氏
2. 研究成果報告

福井大学 教育学部 栗原 一嘉
西南学院大学 人間科学部 網本 貴一
福井大学 教育学部 西沢 徹
福岡大学 理学部 三好 雅也
福井大学 教育学部 三浦 麻
福島大学 人間発達化学類 平中 宏典

3. パネルディスカッション
福井県教育庁 高校教育課 参事 橋本 貴志 氏
福井県教育庁 義務教育課 指導主事 上級 CST(福井)
宮本 貴夫 氏
福井大学 教育学部(研究分担者) 教授 西沢 徹
西南学院大学 人間科学部(研究分担者) 教授 網本 貴一

シンポジウム

これからの理科の先生をどう発掘し支えるか?

参加申込 以下フォームまたはQRコードよりお申し込みください

<https://forms.gle/6CktJfVajh6wVC5A>

申込期限 令和6年9月29日(日)

参加費無料
要事前登録



これからの理科教育を担う小学校・中学校・高等学校の先生方
そして、次代の理科教育の担う高校生のご参加をお待ちしています。

CST News Report No.33 2024. 9. 10 発行

編集・発行・印刷 福井大学 CST 企画運営事務局
〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号 ☎0776-27-9928
E-mail cstfukui@f-edu.u-fukui.ac.jp
HP <https://www.cst-fukui.net/>